



【成果報告会 開催レポート】

LFPパートナーの皆様

こんにちは！静岡LFP事務局です。

先日3月5日に開催した「令和5年度静岡LFP成果報告会」の様子をお届けします！リアルとオンラインのハイブリット開催にて、多くのLFPパートナーに参加をしていただきました。

前半の第一部では、令和5年度実施ビジネスの報告を中心とし、現地会場では現在の商品の試食会も開催しました。後半の第二部では、次年度の静岡LFPの現状や検討しているビジネスアイデアについて報告をしていただきました。

今回の成果報告会については、開催のご様子をYoutubeチャンネルにて配信をさせていただきます。詳細につきましては、動画を拝見していただけますと幸いです。

▼令和5年度静岡LFP最終報告会動画

<https://youtu.be/oSpXU6dDuiE>

※上記リンクにアクセスいただくと動画を視聴いただけます。

成果報告会 参加者

酪農王国株式会社

自然塾

ホシザキ湘南株式会社

株式会社 タカラ・エムシー

ふじのくにの旬を食べ尽くす会

岩品農園

梅工房おおいし

株式会社天神屋

藤枝地域活性化推進協議会

八木田牡蠣商店

株式会社共立アイコム

NPO法人かわね来風

公益財団法人静岡県産業振興財団

静岡県廃棄物リサイクル課

静岡県新産業集積課

静岡県畜産振興課

静岡県林業振興課

静岡県東部農林事務所

静岡県中部農林事務所

静岡県志太榛原農林事務所

第一部では、令和4年度にビジネスを実施いただいた かわね来風様から、令和5年度におけるビジネスの実施状況について、ご報告をしていただきました。

令和5年度では、クラウドファンディングの実施や、かわね来風様が運営する「三ツ星村」(川根本町)の酒販店「三ツ星クラフト」で販売を開始したことが報告されました。直近では、3月20日に開催される「三ツ星まつり」でも、販売をされるとのことです。



その後、令和5年度のビジネス実施者(自然塾様、酪農王国様)から順に実施状況をご報告いただきました。

各グループからのご報告

※一部抜粋

1万食で1山がきれいになる「竹害」と「獣害」を食べて解決(自然塾)

藤枝市のシェフ3名と協働でメンマとジビエのレトルト食品を「和・洋・中」で開発。2回の評価会を通じ、レシピの改善を実施していきました。自然塾様の活動拠点である藤枝市谷稲葉の竹林を舞台に、ガストロノミー・ツーリズムを想定したトライアルイベントを評価会も兼ねて実施し、「体験×食」のコンテンツ化を検討していきました。竹害、獣害への課題に対して、1万食で1山がきれいになるという循環型の消費を目指しています。

函南発！スープでつなぐ課題解決(酪農王国株式会社)

丹那牛乳と箱根西麓三島野菜を活用したスープを開発。函南町丹那の酪農家が担い手不足や飼料高騰などにより減少。箱根西麓三島野菜の生産農家も後継者不足や廃棄でロスが発生するという課題に対して、双方の課題解決に向けて、それぞれのブランドの強みを生かした新たなフードサプライチェーンを構築していくことで、酪農家の収益向上や、廃棄されている箱根西麓三島野菜のB品の活用を目指していくプロジェクトです。様々な野菜で施策を重ねていった結果、三島甘藷と丹那牛乳のミルクポタージュを開発しました。2回の評価会およびアンケートを実施し、今年度は試作品の開発までを行いました。令和6年度の商品化に向けて、これからも継続して取り組むという意気込みを示していただきました！

LFPへ参加したメリットや感想

・最初はLFPについてわからない部分もあったが、研修会などを通じて勉強していくことで、商品開発に対して関係人口を増やしていくことができ、ビジョンを共有しながら創っていくことが学べた。

- ・食品の開発や販売をしたことがなかったが、専門的な方が周りでサポートしていただいたおかげで、進めていくことができ自信に繋がった。
- ・もう少し時間があつたらさらなる連携ができたと思う。

試食会

その後の試食会では、会場にご参加頂いた皆様に試食をしていただき、その後、感想をいただきました。オンラインでご参加頂いた皆様からも質問をいただき、ハイブリット開催ならではのコミュニケーションができました。



第二部では、令和6年度に向けた静岡LFPの状況や、天神屋様から現在お考えのビジネスアイデアについてお話をいただきました。

天神屋様 ご報告の抜粋

人口減少という大きな問題に対して、なにかビジネスの領域からできないかということを考えていた中、地域の課題を食(おでん)を通じて解決していきたいと自分なりに考えている。人口は減っていく中で、ビジネスを通じて県外や海外などの外からしっかり稼ぎ、若い世代が流出していかない地域を作っていけたらという思いがある。

なぜおでんというお話もあるかと思うが、実は認知度が上がっているというデータがあり、かつLFPの大きな目的である、一次産業との連携のしやすさ、全国各地でご当地おでんがある中で、様々な食材との連携が目指せるのではないかと考えている。

これから考えていく中で、おでんに合う食材や、おでんと一緒に食べる体験、新しい売り方やお土産の需要など、様々な連携を目指しながら、ビジネスをさらに検討していきたい。



令和6年度LFPの強化ポイント案

事務局から令和6年度に向けたLFPの強化ポイントを整理し、ご共有をさせていただきました。その後、急遽ではございましたが、各LFPメンバーの皆様から、静岡LFPについてのご質問や意見交換を行いました。情報発信の強化などについて意見交換がなされ、メンバーの皆様と一緒にプラットフォームを作っていくための議論を重ねることができました。

事務局より

LFPメンバーの皆様、令和5年度は誠にありがとうございました。

事業者様を中心とした各チームの奮闘により、2つのビジネスが走り始めたことを嬉しく思います。事務局としてはLFPで生まれていったビジネスの支援と新たなビジネスの開発の両輪で総合的に実施できるよう、LFPメンバーの皆様とともにプラットフォームとしての機能強化を進めていきたいと考えております。地域課題の解決とビジネス(経済的利益)の両立は、難しいという印象もございますが、異業種の連携で新たなアイデアや共創を呼び込んでいけるのがLFPの魅力かと思えます。ぜひ皆様と今後とも進めていけましたら幸いです。引き続きよろしくお願いいたします。

(執筆:事務局鈴木)